

事務事業 No./名 称	■サービス部門 健福-45 国民健康保険高額療養資金貸付事業										
	□支援部門										
主管課	保険年金課					関連課					
分野名	健康福祉										
目標 (目標値)	被保険者が高額医療の急な支払いに対応することができる。										
人口等の データ	データ区分	24年度			23年度			22年度			備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)
	人 口	177,224人			177,204人			177,161人			
	世 帯 数	79,669世帯			79,217世帯			78,812世帯			
	事業の対象者数										
運営資源 状 況	決算値(千円)	0									
	(国・県)	0									
	(負担金等)	0									
	(一般財源)	0									
	人員配置数	0.0									
	人件費(千円)	0									
	協働の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	0									
	市民1人当 りの経費(円)										
	対象者1人 当りの経費(円)										
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)				
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値									

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
国民健康保険高額療養資金貸付事業	0千円	①効率性 △ ②妥当性 △ ③有効性 △ ④公平性 △	⇒ □A □B □C □D ■E		
	事業の概要	高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けを行うもの			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	近年において新規の当該貸付事業の利用者は、皆無であるが、当該貸付事業を廃止した場合における制度上の不整合について詳細な検討が必要であること。		
課題解決のための取組	廃止した場合の制度上の不都合について、検討をした。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	当該貸付事業の存続意義は希薄であるが、当該事業を廃止場合にどのような制度上の不整合が生じるかの最終検討が終わっていないこと。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	△	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止		※□事業完了	
		②妥当性	△			他市の状況の把握を行い、貸付条例の廃止についての検討を行う。	E	課長等名
		③有効性	△					
		④公平性	△					保険年金課長 持田 浩史

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
国民健康保険高額療養資金貸付事業	18	国民健康保険高額療養資金貸付金	100	0	△	△	△	△
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							